

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

創業の精神

人間尊重と優良品の生産を基礎として、会社をめぐるすべての関係者との共存共栄をはかる

グループ売上高
1,400億円営業利益
125億円ROE
8%以上ROIC
6.6%以上

② 中長期の経営戦略

1. 機能ソリューション事業

プラスチックフィルム分野で資源循環モデルをグローバル展開。エンジニアリングプラスチック分野で江南工場増設、エネルギー分野をSBUとして立ち上げ

3. アパレル事業再生

2025～2026年度を構造改革期間に。創益カテゴリー集中特化、生産物流再編、間接部門効率化で資本効率を高める

2. メディカル事業拡大

バイオマテリアル×デバイスで医療機器企業へ成長。日本・中国で新製品開発、欧米で販売体制強化、中東・南米・アジアで市場参入推進

4. 不動産・その他分野

不動産は低収益アセット改善・成長領域ヘシフト。グリーンはCO2固定化。スポーツクラブはスクール事業拡大と新業態開発

③ 対処すべき課題

① 資本効率の改善

- ・ 2025年3月期ROE5.3%は目標6.3%を下回る。PBR1.0倍実現が課題
- ・ PERが東証プライム平均を下回る。株価・流動性向上が必要
- ・ 株主資本コスト7.2～7.8%を上回る収益性実現が課題

② アパレル事業の低迷

- ・ 国内市場縮小、競争激化、円安進行で有効施策が追い付かず
- ・ 資本効率が低位で推移。現行計画を中止し再生に転向

③ サステナブル経営推進

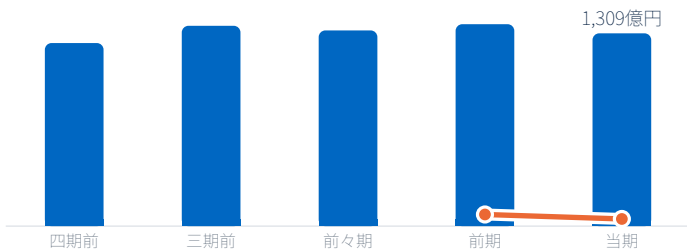
- ・ 2030年度CO2排出量35%削減（2013年比）、女性管理職20%達成
- ・ 男性育休取得率100%、エンゲージメントスコア70点達成を目指す

面接で使えるポイント

- ・ グンゼは創業の精神『人間尊重と優良品の生産』を軸に、2030年ビジョンで社会課題解決と企業価値向上の両立を追求
- ・ メディカル事業の成長牽引とアパレル事業再生の二つの課題に同時に取り組み…
- ・ ROIC・GVA管理や部門別WACC導入で資本効率を徹底。低収益事業構造改革と株主還元100%超で企業価値向上に注力

証券コード 3002

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,309億円営業利益率
3.7%財務健康度
62点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 55.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
652万円

繊維製品内 14位/49社

平均年齢
42.8歳

繊維製品内 35位/49社

平均勤続
19.1年

繊維製品内 16位/49社

女性管理職
6.0%

繊維製品内 28位/37社

男性育休
85.7%

繊維製品内 17位/29社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: ohpner、グンゼ株式会社「アセドロン」のモビリティ広告(

